投与法①　倉田式経管投薬法 ver. 1

（水剤瓶使用の場合）

1）1回分の薬を60mL水剤瓶に入れます。



カプセル剤も
そのまま入れ
ます



2）約55℃の温湯を約20mL以上加え、蓋をしてかき混ぜ10分位放置します。



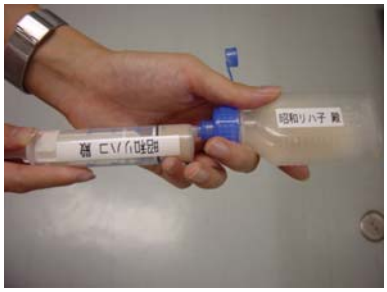




55℃の温湯の作り方
1.ﾎﾟｯﾄのお湯と水道水の割合を
　ﾎﾟｯﾄのお湯：水道水=2：1にする。
2.多くの施設でﾅｰｽｽﾃｰｼｮﾝの水を一番熱くして出すと約55℃となる。
3.60℃設定のﾎﾟｯﾄを使用する（すぐに55℃になる）。

3）経管栄養終了後、経管栄養剤の容器に人肌程度の湯を少量入れてフラッシュします。

4）ｵｰﾗﾙﾃﾞｨｽﾍﾟﾝｻｰで水剤瓶の中にある崩壊した薬を吸い取ります。

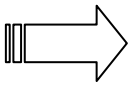


5） 三方活栓の薬剤投与部分にｵｰﾗﾙﾃﾞｨｽﾍﾟﾝｻｰをつなぎ薬剤を投与します。（誤接続防止のためﾁｭｰﾌﾞとﾃﾞｨｽﾍﾟﾝｻｰの径が合わないのでｱﾀﾞﾌﾟﾀｰを使用します）



6) ﾌﾗｯｼｭ用水剤瓶に水を入れ、ｵｰﾗﾙﾃﾞｨｽﾍﾟﾝｻｰに吸い取り、ﾁｭｰﾌﾞに注入し残った薬剤を洗い流します。







7） 使用器具は0.01%次亜塩素酸Na(ﾐﾙﾄﾝ、ﾋﾟｭｰﾗｯｸｽなど)に1時間浸漬後、乾燥させて再利用します。